



2021 業界・組合リーダーの 年頭所感



新年を迎え、業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様にも、業界の現状、新年の展望等について、ご寄稿いただきました。

— 順不同・敬称略 —

赤帽群馬県軽自動車運送 協同組合

理事長 赤 間 美代子

新春のお慶びを申し上げます。
「あけましておめでとござい
ます」

令和2年は新型コロナウイルス感染症が蔓延したことにより、国内だけではなく世界中が大きく様変わりしました。

3密を避けるために、総会を始めとし、各種研修会、講習会など、殆どの事業を中止せざるを得ない状況に陥りました。感染者が拡大する中で、職場でも距離を保ち、マスクをし、熱を測り、消毒をし、シールドで隔離するなどの対応を取りました。また、会議などもリモートで行うなど生活が一変し、私たち軽貨物運送業界の仕事も激減いたしました。

3月ころマスクが市場から無くなり困惑していた組合員に、何とか手に入れた50枚入りマスクを1箱全組合員に配布することができ喜ばれました。

その後も組合で助成金を支給するなど、何とかしのいではきましたが、受注量減少は止められず、とても厳しい状況です。

令和3年度を迎えるにあたり、人が働き生活ができる循環を取り戻せることを切に願うとともに、皆様方のご繁栄とご多幸をお祈りいたします。

伊勢崎織物協同組合

理事長 奥 野 桂 一

新年明けましておめでとござい
ます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、展示会等の諸事業の中止を余儀なくされ、組合活動が停滞するなど大きな影響がありました。

迎えた本年は、一日も早くコロナウイルスの感染拡大が終息し、今迄の経済活動に戻ることを願っております。

最近、「いせさき銘仙」の話題をマスクミニ等で度々見聞致しますが、関心の高さが窺えます。

この様な中、当組合と致しましては、技術の継承は喫緊の課題であることから、展示・販売会や手織体験教室を実施しております。

本年も、歴史と伝統ある技術、技法を継承するための活動に取り組んでまいりますので、皆様方の



深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。

太田機械金属工業協同組合

理事長 坂 本 正 堂

新年明けましておめでとございます。
さて、昨年は言つまでもなく中国武漢を原発とする新型コロナウイルスの感染拡大により、感染者数5890万人、死者数139万人と全世界を巻き込んだ未曾有の緊急事態に陥る年となりました。地元の自動車メーカーにおいても4月中旬には完全稼働停止、その後は大きく減産と、組合関連企業においては大きく生産活動も落ち込み、緊急融資、雇用調整助成金をはじめとする支援を利用しながら感染防止と企業の継続、雇用維持と大きな使命を負いながらの一年となりました。

デジタル庁が創設され、リモートやテレワークといった新たな働き方と尚一層のIoT化といった新しい対応が求められています。全世界が共に協調しこのウイルスの戦いに勝つ一年となることを願

い、関係機関各位には何卒強いご支援ご指導のもと本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

桐生織物協同組合

理事長 小 林 雅 子

皆様におかれましては、健やかな内に新年をお迎えの事と心からお慶びを申し上げます。
昨年は東京オリンピック・パリンピックを迎え、華やかな記念の年となると期待いたしておりましたが、新型コロナウイルスCOVID-19の影響で、世界史に残るような大惨事が発生してしまいました。当然、当桐生の織物産地への影響も大きく、物販が止まり、産地への発注は激減してやむなく稼働を中止する組合員も多くありました。

いつまでコロナは続くのか、流通の在庫や私どもの生産はいつも常に戻るのか、今後の繊維業界はどうなるのか、不安だらけの環境にあります。しかしながら、ウイルスは人を媒体にして猛威を振るいますが、人が一致団結し、知識と知性をもって行動すれば、必ずウイルスは勢いを失います。同様

に、われわれ一同が力を合わせて創意工夫し、「新マーケットの開拓」「新商品の開発」等に全精力を傾注すれば、必ず未来は開けると確信いたしております。

また、昨年には「JASCO」のブランドロゴが地域団体商標海外展開支援事業の実施により新たに商標として登録され、「桐生織」の商標と合わせて産地のブランド力を高めるため、積極的な活用と情報発信をおこないたいと考えております。

新たな年を迎え、「群馬県並びに桐生市及び関係機関」の積極的なご指導ご協力のもと、産地活性化を図り、組合員企業の繁栄のため鋭意努力いたして参ります。皆様方の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ぐんま共済協同組合

理事長 田部井 俊 勝

新年、明けましておめでとございます。旧年中は、格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年末に確認された新型コロナウイルス感染症は、今なお

世界中で猛威を振るい続け、収束の兆しが見えない状況となっております。そうした環境下の中、昨年のぐんま共済は、県内中小企業者の皆様、より安心・安全で健康な生活が維持できるよう、感染症拡大防止に努めながら、普及拡大キャンペーンを展開してまいりました。

ウィズコロナ・アフターコロナの時代を迎えるにあたり、更なる困難に直面することも予測されますが、本年以降も中小事業者の皆様が、安心して経済活動に専念できるよう、真摯に共済事業に取り組んでまいりますので、引き続き、より一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

群馬県印刷工業組合

理事長 石 川 靖

昨年は春先からの新型コロナウイルスの影響で、印刷業界も大きな打撃を受けました。果たしてこの生活習慣がどうなるのか、それが一番気になることです。この騒動でだいぶ社会の変化が早まったのではないのでしょうか。問題はこの変化にどう適応していくかが



今年の重要課題ではないでしょうか。

これから市場は少しずつ回復するでしょう。人々も集まるようになり、イベントなども開催されるでしょう。しかし、私はコロナ以前のようない市場環境に100%は戻らないと思っています。ですからやはり各々の組合員が自分たちの体制をもう一度見直すとか、新しい事業を始めるとか、何らかの動きを起こさないと事業の継続が困難になるのではないのでしょうか。

組合としてはそんな組合員をどうサポートしていくか、どうやって有効なヒントを与えていくかが今年の目標になるのではないかと思っています。

協同組合群馬県機械設備工業会

理事長 串 田 紀 之

新元号・令和による初めての年明けとなった昨年でしたが、世界中がコロナ禍に覆われ、わが国も期待していたオリンピック開催どころか、新しい生活様式を余儀なくされてしまいました。

経済活動では、リモートワークという、働き方改革が思わぬ方向

に展開しました。

一方、社会生活では「アマビエ」という妖怪が登場。一向に収まらない感染拡大に、疫病除けのご利益（ごりやく）にすがりたい気持ちを笑うことはできません。

そして、今年の干支はといえば丑。丑年は「我慢（耐える）」「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になるそうです。

やはり今は我慢。しかし、その後の新たな展開を期待しつつ、そして、そのために今何が大切か？

コロナ禍の長期化で社会の価値観が変わり、全てが元通りにというわけにはいかないかもしれせん。しかし、業界を支える「絆」だけは、変わらず大切に残していきたいと思っています。

群馬県給食協同組合連合会

会長 横 山 順 一

新年あけましておめでとございます。

昨年を振り返りますと、二月に端を発したコロナ禍の影響により、学校・幼稚園の休校休園、製造業の操業中断、リモートワークの進展、イベント中止および自粛によ

る仕出し部門の受注減等、業界全体として回復不可能な売上減に見舞われました。

今年は、行政等の支援策も活用しつつ、伸びる分野（介護食、高齢者宅配等）へ経営資源等を投入するなどして、挽回をはかるとともに、引き続き共同購入による仕入れ価格の低減、定例会開催によるタイムリーな情報交換等を進めて参りたいと考えております。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

協同組合群馬県建築設計センター

理事長 井 野 公 雄

明けましておめでとございます。

協同組合群馬県建築設計センターは、官公庁、諸団体等発注の建築設計、工事監理等の共同受注を行っています。

公共建築物は昭和40年代から60年代にかけて多くの新築工事が行われましたが、建築物の長寿命化等を図る要請を受けて、現在では耐震改修設計、省エネ改修設計、バリアフリー改修設計等様々な改修設計が行われています。

当組合は、創設以来50年近い公共建築物の設計監理の経験を有しており、今後も組合員と技術力の向上を図り、多様なニーズに的確に応えられるよう努力していくと共に、昨今の多発している自然災害に対しても的確な対応力を身に付ける所存でおります。

関係各位のご指導の下、本年も更に頑張つてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

理事長 町 田 憲 昭

「安心で安全に住める ブロック建築物」

新年明けましておめでとございます。

旧年中は格別なるご支援とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

国内では昨年の殆んどが新型コロナウイルス対応で終わってしまいました。昨年11月23日現在では国内では13万人を超える感染者が、また世界では5800万人を超えて増え続けております。これにより国内経済は大きく後退しており、解決には早急なワクチンの開発と国民への接種が期待されます。



また昨年は西日本では豪雨による大きな災害が起きました。我々業界としてはこれ等災害に対しては社会に向けてブロック建築物の点検と対策をPRし、講習会の開催や、危険性だけでなく、ブロックが持つ利便性と強靱で耐久性を活かした災害に強く安全で安心な住まいを提供することを目指して、良い商品の供給に努めてまいります。

今年は延期された2020東京オリンピック・パラリンピックイヤーです。これを成功裡に収めれば、経済が復興し活性化すれば国内の景気にはまた良い展開が期待されます。

本年も会員の皆様のご協力を得ながら未来発展の為、事業に邁進させて頂きたくご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

群馬県再生資源事業

協同組合連合会

会長 小林 克 禎

昨年は今迄経験した事のないコロナ禍の中で、再生資源業界におきましても、感染防止の観点から通常総会の規模の縮小や懇親会など各種の事業が見送りとなり、業

界団体の活動は大きく制限を受けました。この事態に対して、コロナ禍による活動の停滞長期化が組合の求心力低下につながるのではないかと危惧する所でもあります。しかし、こうした懸念を払拭する為にもWEBの活用など新たな取り組みを考え導入し、組合員が求めるサービスを展開できればと考えております。

コロナ禍の中では、あたり前の日常が奪われたような事もあり、改めて人と人との関わり合いや社会との接点の尊さや大切さなどを痛感する事もあるのではないかと思いますので、組合員同志の心の距離が離れてしまわないよう心掛けて参りたいと思っております。そのためにも、組合員各社のコロナ禍での日々の事業や現場運営の取り組みなどの情報を共有し、組織としての機能を充実し連合会としての果たすべき役割を能動的に推進してまいいる所存であります。本年も皆様のご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



群馬県柔道整復師協同組合

理事長 櫻井 弘

明けましておめでとーございませう。

旧年中は格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。本年も宜しくご指導の程をお願い申し上げます。

私どもの業界の現状は、20年前、養成専門学校が全国に14校ありました。規制緩和により現在は専門学校が100校、大学が12校あります。群馬県内の接骨院数は全国的に見ても人口比で競合県の上位にあります。したがって、一人あたりの収入は激減しております。その上、昨年から続いているコロナ禍により来院患者の激減で追い打ちを受けております。昨年、計画していた健康産業という面での対策として、スポーツトレーナーの講習会等が3密を避けるために中止となりました。今年こそ、各種講習会を開催し優れた治療技術の研鑽に努めてまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご支援のほどをお願い申し上げます。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今川 守

明けましておめでとーございませう。

顧みますと、昨年はコロナに振り回された一年でした。とりわけ4月に発令された緊急事態宣言に伴う外出自粛等の影響により、傘下の各商店街は、これまでに経験したことのない厳しい状況に追い込まれました。私も商業者として桐生市において婦人下着の小売業を営んでおりますが、一日の売上がゼロを記録したのは創業以来、初めての事です。

こうした中であつて、各商店街では、ガイドラインの策定をはじめ、徹底した感染症防止対策に取り組むなど、消費者のみなさまに安心して来街いただける環境づくりに日夜、懸命に尽力しているところとです。昨年10月からは国の「GO To 商店街」事業もスタートし、一部の商店街ではイベントの開催を通じて、徐々に客足が戻りつつある兆しが見られますが、多くの商店街では本年も予算を許さない状況が続くと思われます。

本連合会といたしましても、逆



境の時こそ商店街が一致団結し、皆で知恵を出し合うことが大切であるという認識の下、商店街の組織力の強化・賑わい創出に資する取り組みをこれまで以上に展開して参る所存です。

関係各位におかれましては、本年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

群馬県食肉事業協同組合連合会

会長 征矢野 茂

「Go To 疾病の無い世界」

新年明けましておめでとございます。今年も皆様の業界が発展することを切にお祈りしております。

さて、私たち群馬県食肉事業協同組合連合会は疾病による問題に晒されています。

具体的には新型コロナウイルスによる外食自粛と巣ごもり需要、加えて豚、猪共通のCSF（豚熱）等の疾病による食肉の価格の変動幅です。

その抑制の為、当組合においてはウイルス対策に万全を期しています。

業界としてHACCP（ハサツ

プ）の順守はもちろんのこと、生産者と連携して消費者目線の養豚場や養鶏場への野生動物侵入防止柵設置、防犯カメラ導入等を今後も推進していく所存です。

目指すところは全ての疾病に対して安全、安心な食肉提供であります。

今年もどうぞ弊連合会をよろしくお願いします。

一般社団法人

群馬県信用組合協会

会長 小林 正弘

新年あけましておめでとございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、外出自粛やテレワークの活用など、社会のシステムや人々の生活様式に大きな影響を及ぼしました。

感染された皆様には一刻も早い回復をお祈り申し上げますとともに、治療の最前線で国民の健康を守るため懸命に努力されている医療従事者の皆様には心より感謝申し上げます。

さて、昨年10月に群馬県信用組合協会、群馬県、群馬県信用金庫協会の三者は「ぐんまの地域づく

り共創宣言」に署名しました。中小・小規模事業者のコロナ後のニューノーマルへの転換、地域経済の持続的発展について相互に連携し協力して取り組みます。

中小・小規模事業者の事業継続のための支援は私ども地域金融機関の役割であると考えております。本年もよろしくお願い致します。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 星 野 陽 司

新型コロナウイルス感染症の拡大は、「緊急事態宣言」の発令や、飲食店などに「休業要請」が発出されるなど、社会・経済に甚大な影響を及ぼしました。

我々麺業界にも、大きな影響を及ぼし、一般小売商品は比較的好調に推移したものの、業務用・土産物商品は大きなダメージを受けております。

私ども業界は、人口減少による国内市場の縮小、人手不足への対応、働き方改革への対応、後継者問題、災害時の安定供給問題等々さまざまな課題を抱えております。

こうした中であって、「食品表示基準（栄養成分表示の義務化）」

など食品に係る様々な法律が毎年改正・施行されております。特に、昨年の6月には、HACCPの制度化に関する「食品衛生法」が施行され、徹底した衛生管理による高品質商品の提供が高いレベルで要求されており、個々の企業負担は益々増大しており「事業継続性の観点」からも極めて厳しい状況となっております。

このような厳しい状況下に置かれておりますが、家庭内食需要が見直されて来ている流れを大事にし、消費者が求める安全・安心な製品づくりを基に、地域に愛され、郷土食としての「めんづくり」に努めていきたいと思っております。

本年も昨年に続き、ぐんまの郷土料理の「おつ切り込み」と「ひもかわうどん」を積極的に広め、地域食としての「めん」を通しての家庭づくりや人々のコミュニケーションづくりなど、生活者の食の豊かさや麺食文化の向上に努めてまいります。

群馬県石油協同組合

理事長 鈴木 明弘

新年明けましておめでとござい



います。

昨年は年初から新型コロナウイルス感染症拡大に始まり、緊急事態宣言が発令され、誰しもが経験したことのない商環境を強いられました。売上は半減しつつも我々石油販売業者は、地域の重要な社会インフラとして休業することなく、コロナ感染拡大防止対策に努め、ライフラインとして頑張つてきました。

また近年は、豪雨災害が多発しています。停電時も緊急車両等に給油ができる発電機を設置した住民拠点給油所を県内店舗の半数近くまで増設します。

今後EV車両の増加で需要は毎年減少してくると思いますので、組合活動を中心に中小事業者を減らすことなく、共存共栄を目指して業界の発展に繋がりたいと思います。

群馬県鐵構業協同組合

理事長 大竹 良明

「新旧の価値観が融合された

未来に期待」

新年、明けましておめでとございます。

昨年は、新型コロナウイルス感

染症が世界規模で拡大し、東京オリンピック・パリオリンピックの開催が延期される等、経済活動に限らず、社会・文化・スポーツ・教育活動等、社会生活に多大な影響を与えました。

不透明な情勢の中、我々は焦らず経営リスクを回避するとともに一致団結し、情報を共有していかねければなりません。

一種「3密」を楽しむオールドノーマルは、以前と同じというわけにはいきません。現在「3密」を避けるため、会議はWebが多くなりました。Webは味気無さがありますが、何度も再生できる利点もあり、今後このようなニューノーマルが増えていくと思われるかもしれません。しかし、楽しかったオールドノーマルも味わいたいものです。新旧の価値観がうまく融合された未来に期待します。

群馬県電気工事工業組合

理事長 高草木 茂

令和3年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。平素は関係各位の皆様にご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。年頭に

際しひとことご挨拶申し上げます。

コロナ禍により日本のみならず世界を取り巻く経済環境は大きな打撃を受け、悪化の懸念から為替にも影響が及んでいるのは周知の事実です。厳しい経済環境がなかなか改善されない状況にあり、電気工事業界だけではなく、建設業全体の仕事が激減している現状です。僅かながら明るい兆しも見えてきておりますので、2021年は将来を見据え、先を急がず一歩着実に物事を進めて参りたいと考えます。さて、弊組合といたしましては今後も若手人材の育成と確保に軸足を置き、業界全体の理解度と認知度を高める取り組みを進めて参ります。

結びに、皆様にとりまして新しい年が明るく実りある年となりますよう祈念し、挨拶いたします。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 今成 克之

昨年は新型コロナウイルスの感染が世界中で広がり、感染防止のための行動が求められるなかで、経済活動が停滞して荷物が減少し、政府の各種金融支援・交付金・助

成金等を活用しながら経営をしています。大変厳しい状況が続いています。

運輸業界では引き続き、働き方改革・ホワイト経営への対応等に加え、世論の厳罰化の流れを受け道路交通法が改正され「あおり運転に対する罰則の創設と行政処分の整備」のもと、より一層の安心・安全への対応が強く求められています。

そんな中当組合は、コロナ下での3密回避への対応もできる、IT点呼システムを利用しての点呼補助業務を実施するなど、各共同事業を積極的に進め組合員のための組合づくりに取組んでまいります。今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 高木 康夫

新年あけましておめでとございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、消費や企業活動が滞り経済が麻痺する状態に陥りましたが、多くの業界で明るい兆しも見えてきております。



こうした中、私共、生コンクリート工業組合におきましては、各工場とも感染予防対策に万全を期し、多くの制約のもと、これまでどおり安定的な出荷を行い、建設資材産業としての使命をしっかりと果たして参りました。また、本年も品質管理を徹底し安定供給に努めて参ります。

どうか皆様には本年も変わらないうご指導、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この1年、経済が落ち着きと元気を取り戻し、皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申しあげて年頭のご挨拶いたします。

群馬県バス事業協同組合

理事長 関 根 福 寿

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当組合は、高速料金後納事業並びに共同購買事業に加え、平成26年度からは群馬県等が主催するぐんまマラソンをはじめ、各般にわたるイベント等の輸送共同受注事業を行っています。

組合事業者は「バス事業が県民

の生活を根底から支え、社会公共のために欠くことのできない重要な役割を果たしている」と自負し

事業経営に取り組んでおりますが、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種社会活動や外出の自粛、観光需要の落ち込み等により、全事業において大幅な減少を余儀なくされ、事業経営に与える影響が深刻化しています。今後は、感染拡大の予防と社会経済活動の両立を図ったうえで、必要と考えられる対策をまとめた「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に基づき、バスは換気が優れ、十分に安全な乗り物であることを利用者に周知し、各事業を行ってまいります。

今後ともご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

群馬県板金工業組合

理事長 飯 塚 忠 利

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、百年に一度の脅威、戦後最大の危機と言われた「新型コロナウイルス」の感染拡大が全世

界で猛威をふるい、感染者は数十万人となり、多くの尊い命を奪いました。

日本においても全国民の健康と経済活動に甚大な被害を与え、国内外は深刻な危機に陥っています。このような状況の中、当組合も會員相互の生命と健康を守るため、感染拡大防止を優先し、各種会議や大会も中止、延期の措置をとらざるを得なかった事は誠に遺憾の思いであります。朝がこない夜はない、止まない雨はない」ことを望みとし、令和3年は、會員相互のご自愛とご努力あらん事をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県美容業生活衛生同業組合

理事長 町 田 仁 一

あけましておめでとうございます。中央会及び関係各位の皆様にとりまして明るく期待の持てる一年となりますよう謹んでお祈り申し上げます。

美容師の国家試験には、衛生管理に関する課目の習得が必須になっています。消毒法は勿論、感染症予防に関しても深い知識を

持つていなければなりません。衛生管理を徹底してきた近年の日本において、まさかと言える感染症拡大でした。油断もあつたかもしれません。今回の件は、ファッション性に重点が移り、衛生管理を疎かにしつつあつた美容業界に、気付きを与えてくれたと思います。

従来の管理体制に加えて更に進化した衛生管理で、消費者の安心と安全を担保することが最優先課題だと認識しています。その為には、中央会の各団体の皆様との連携が大切だと思います。相互間の情報交換を図り、各業界が安心できる一年となりますよう祈念しまして年頭の挨拶と致します。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 塚 田 且 美

新年の希望的展望

新しい年を迎え、今年の景気が大変気になります。我が国も、大アメリカも指導者が変わり少しは、互いに思いやる世界に変化してくるのではないかと安堵しています。一国主義保護政策などは、過去の語り草になることを、期待しています。



業界は苦しみました。今もその

苦しみは続いているのですが、希望のもてる苦しみではないかと思えます。一方やがてくる入札が、コロナ禍に便乗し不当に競争をあり、ダンピング入札にならないことを祈っています。このことは、心から関係官庁にお願いしたいと思っています。

さて、延期になったオリンピックに過度の期待はしませんが、ひとつの起爆剤になり、少しでも右肩上がりの経済に思いを寄せています。業界はオリンピック選手村のメンテを受注いたしました。これも成功裡に事が済むことを望んでいます。本年後半には、期待以上に、経済が回復し進歩していくことを、願っています。

群馬県遊技業協同組合

理事長 森 山 秀 夫

新年明けましておめでとございます。

皆様には、ご家族ともども輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も、パチンコ・パチスロ遊技産業は、娯楽の多様化に伴う

遊技参加人口の長期的な低迷や、ホール従業員の人手不足などの変革期を迎えております。

加えまして、新型コロナウイルス感染症により、私達業界を取り巻く環境が大きく変化いたしました。また、IR推進法の成立以降は、依存症問題の対応などへの取り組みが強く求められております。

このような状況の中、身近で手軽な大衆娯楽として、より多くの県民の皆様にあふれ、安心して楽しんでいたただけです。新型コロナウイルス拡大防止対応マニュアルを作成し、各ホールではこのマニュアルに基づいた対策を日々講じております。

また、今年も社会貢献事業の一環として、老人福祉施設などへの寄付を行って参りますとともに、犯罪の起きにくい社会づくりに向けた諸活動を警察の指導の下、より一層強化して参りたいと考えております。

最後に、皆様にとりましてこの一年が良い年となりますようご祈念申し上げて新年のご挨拶いたします。

群馬県旅館ホテル

生活衛生同業組合

理事長 森 田 繁

新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、群馬DCや東京オリ・パラ開催による「新たな飛躍」の年と期待していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により実現叶わず、年度当初から相次ぐキャンセルや休業要請等により、経営の継続すら危ぶまれる事態となりました。

その後は、国や県の需要喚起策に救われましたが、失われた数か月を取り戻す事は容易でありません。ウィズコロナを乗り切るためには、今までの価値観に囚われず、新たな流れをどう活かすのか、変革も視野に入れた取り組みが求められます。

今後は、この新時代を「新たな飛躍」の好機と捉え、引き続き努力して参る所存ですので、皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。



高崎卸商社街協同組合

理事長 杉 浦 幸 男

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶を申し上げます。

予想だにしないコロナ禍の一年を経て、新たな年が平穏無事であることを切に願います。

どの業界においても大きな打撃を被った一年であり、わが組合の窮状ばかりを嘆くわけにはいきません。しかしながら、イベントや集会の延期・中止により、当組合のビッグキューブ（展示ホール）や大小会議室の稼働は停止し、収益面では極めて大きな痛手となりました。

また、教育情報や福利厚生等の組合の各種事業も思うように実施することができず、無念の一年となつてしまいました。

一日も早いコロナ禍の収束を望むとともに、今こそ将来をしっかりと見据えて、組合の団結強化を図るべきだと考えます。

組合員から求められる事柄は何かを念頭に、情報の収集提供、各種支援に努め、組合の進むべき方向を見誤らぬよう注力しなければなりません。

特に団地組合は、他の協同組合と異なり、地域との結び付きが極めて強い存在です。地域の発展、共存共栄を目指すことが必要となります。

より良い組合運営、より一層の地域の振興発展のため、常に公平・公正、かつ品格あるべきことを胸に刻み、新たな年に臨む所存です。

皆様の社業隆盛をご祈念申し上げますとともに、中央会をはじめ関係各位には、本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

高崎機械工業協同組合

理事長 八 木 議 廣

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

ご承知の通り、昨年の初めから新型コロナウイルス感染症が発生し、日本のみならず世界を取りまく経済環境などにも大きな打撃を受けております。

当組合員企業についても大幅な事業活動の縮小など、受注減少や資金繰り、資金手当て等大変苦慮し、かつてない厳しい状況下にあります。

令和3年、「丑年」が苦難の時を経て牛歩であるが、地に足をつけ弛まず進み続ける飛躍の年になりますことを強く念じ、地域経済を支えているのは、我々中小企業であるとの強い気概を持つて、この一年を乗り切っていきたいと思っております。

今後とも皆様方のご支援並びに関係機関各位のご指導を賜りたくお願い申し上げます。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 金 井 正 直

令和三年明けましておめでとございます。昨年にはご支援ご協力を賜りここに厚く御礼申し上げます。

昨年は、わが日本のみならず世界中の情勢、経済の全てが病禍に振り回される一年でありました。米国では民主党のバイデン候補が第46代大統領に選出されました。また中国では覇権のための体制作りが進んでいる昨今です。バイデン氏は、親日ではなく、また親中でもないと言われていますので、以降も米国の指針から目が離せません。

目前の課題としては、ＩＴ、ＡＩ等の導入によるＤＸの推進であります。が、中小企業にとりましては困難であると思われます。

扱、当組合は今年で設立七十一周年を迎えます。昨年は組合活動の殆どが中止または延期となりました。今年こそ事態が終息し例年の様に各種研修会を始め親睦会、五十回目となる伊勢神宮奉賛会等を通して親和性を高め、組合員各社また社会に貢献できる組合を目指します。関係者皆様の尚一層のご発展を祈ると共に、力強いご協力を賜りますようお願い申し上げます。一時も早く、禍転じて福となり、明るい年を迎えられますよう期待して年頭の挨拶といたします。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都 丸 和 俊

新年明けましておめでとございます。

昨年を振り返った時、大きな出来事といえば、何といても新型コロナウイルスによるパンデミックで世界経済が大打撃を受け、日本においても緊急事態宣言で経済

活動が止まり戦後最悪のマイナス成長に陥り、国内の末端の中小零細企業にいたるまで深刻なダメージを負うことになりました。

まだまだ収束には至っていない状況であり予断を許さない情勢ですが、今後も早急な解消は難しいと考えられ、「ウィズコロナ」を前提にした事業の組み立てが必要な時代に入ったといえます。新型コロナウイルスへの対応次第では大きなビジネスチャンスにも繋がります。

当組合の施設「前橋問屋センター会館」が皆様のビジネスに活かせる施設として幅広い活用が可能となっておりますので、是非、ご利用いただきたいと思います。

今年1年が皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

